

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8640
 住 所 東京都品川区東五反田2-18-1
 氏 名 東洋製罐株式会社取締役社長 金子俊治 印
 代理人 川崎工場長 小田泰宏
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋製罐株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町11-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業 (別掲を除く)
主たる事業 の内容	プラスチック容器製造販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	12,496	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務課
		所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町11-1
		電話番号	044-266-1581
		FAX番号	044-299-1096
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22 年度 ～平成24 年度 (報告年度24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 24,720 t-CO ₂ (調) 19,953	(実) 21,446 t-CO ₂ (調) 17,269	(実) 21,034 t-CO ₂ (調) 16,955	(実) 21,170 t-CO ₂ (調) 16,944	(実) 22,370 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 13.2 % (調) 13.5 %	(実) 14.9 % (調) 15.0 %	(実) 14.4 % (調) 15.1 %	(実) 9.5 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	第一機械室高効率インバーターターボ冷凍機の効果がありガス使用量が大幅に減ったことにより目標値を大きく削減（13.2%）する事が出来た。
第2年度	震災以降電力削減に対し、政府案15%減要請もあり、契約電力の見直し、生産体制の見直しを図ったことにより削減（14.9%）する事が出来た。
第3年度	契約電力の見直しと生産体制の見直しを実施しガス使用量が半減したものの、予定外のテスト稼働が多くなり電気使用量が多くなった。基準年度に対しては14.4%の削減となった。最終年度目標に対しては（5.4%）削減出来た。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>1990年度比で2020年までに、温室効果ガスの排出量を25%削減する。1990年度実績1,505千ton 2020年度目標1,128千ton（25%削減） 2012年度実績1,302千tonとなり1990年度比で13.5%の削減率となります。</p>

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①押出機駆動モーター更新②押出機ヒーターの保温③気化空調（クールクリーン）④空調機のフリークリング⑤照明SWの分散化⑥生産工程及び付帯設備のエア－洩れ点検整備の実施
	第1年度	①押出機駆動モーター更新 ラインNO. BMS－39. BMS－44の2ケラインを交換実施した。 ②押出機ヒーターの保温 ラインNO4. NO7ラインの2ケラインを実施した。 ⑤生産工程及び付帯設備のエア－洩れ点検整備の実施 158洩れ箇所の整備を実施した。
	第2年度	①圧縮機用冷却水ポンプ2台を省エネ型ポンプに更新 ②工場屋根に水を散布し、工場内の温度を下げる ③照明設備スイッチの分散化（2箇所）の実施
	第3年度	③照明設備スイッチの分散化（2箇所）の実施 ⑥中圧圧縮機圧力設定機デジタル化。 ⑦工場内ダウンライトLED電球へ交換、蛍光灯照明LED化 2010年度から計画していた事項についてはほぼ完了する事が出来た。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	物流業者との協力によるモーダルシフトの実施。副資材輸送を貨物鉄道輸送に一部切り替えて、年間目標31t-CO ₂ の温室効果ガスを削減する。(2009年度については年間/20.2t-CO ₂ (目標の65.2%達成)の削減。)
第1年度	物流業者の協力によるモーダルシフトの実施。副資材輸送を貨物鉄道輸送に一部切り替えて、年間目標31t-CO ₂ 削減に対し32.6t-CO ₂ 削減(105.2%)が出来た。
第2年度	モーダルシフトの実施により年間目標31t-CO ₂ 削減に対し34.3t-CO ₂ 削減(110.6%)が出来た。
第3年度	モーダルシフトの実施により年間目標31t-CO ₂ 削減に対し32.9t-CO ₂ 削減(106.1%)が出来た。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①輸送効率の向上(直行率) 製品をトラックにて営業倉庫へ運搬、一端保管管理し、出荷に合わせてお客さまへ製品納入を直接自倉庫に保管し出荷する。 ②駐車場兼用緑地(グリーンプロック) 工場立地法による必要緑地面積と駐車場確保の両立を目的とした駐車場兼用緑地。(リサイクル材の使用、ヒートアイランド減少緩和)
第1年度	①輸送効率の向上(直行率) 平成22年度目標60%に対し75.8%の達成(達成率126.3%)
第2年度	①輸送効率の向上(直行率) 平成23年度目標75%に対し79.6%の達成(達成率106.1%)
第3年度	①輸送効率の向上(直行率) 平成24年度目標80%に対し83.6%の達成(達成率104.5%) 計画した項目全てにおいて目標達成出来た。②直行率9,000パレットの保管増。③駐車場兼用緑地600㎡の確保。廃棄物23.5%の削減が出来た。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	23,430	t-CO ₂
(調)	23,381	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東洋製罐川崎工場	川崎市川崎区浮島町 11-1	1892	プラスチック容器製造販売	23,430 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--